

第 10 次 横浜市消費生活審議会  
第 5 回消費生活協働促進事業審査評価部会  
会 議 録

日 時	平成 28 年 6 月 24 日(金) 午後 2 時から午後 2 時 50 分まで
開催場所	松村ビル別館 503 会議室
出席委員 (3 人)	荒井委員、作間委員、鈴木隆委員
欠 席 者 (1 人)	大岡委員
開催形態	公開 (傍聴者 0 人)
議 題	(1) 会議録確認者の選出について (2) 平成 27 年度消費者団体等協働促進事業の評価について (3) その他
決定事項	(1) 会議録確認者を、作間委員、鈴木委員とした。 (2) 平成 27 年度消費者団体等協働促進事業の評価を行い、部会としてまとめた意見書を団体に送付することとした。 (3) 平成 28 年度実施事業から使用する相互評価シートを(案)のとおり、変更することとした。
資 料	(1) 本部会名簿 (2) 実施団体一覧 (3) 事業評価表 (4) 実績報告書類等一式 (5) 申請書類一式 (6) 相互評価シート(案)
特記事項	なし

## 1 開会

### 作間部会長

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻より早いですけれども、第5回消費生活協働促進事業 審査評価部会を開会いたします。

はじめに、現在の出席委員についてご報告いたします。委員総数4名中、只今3名の方が出席されており、横浜市消費生活条例 施行規則 第2条の規定により会議開催の定足数に達しております。なお、大岡委員は本日所用でご欠席という連絡をいただいております。

また、横浜市が保有する情報の公開に関する条例により、本日の部会は公開となります。本部会の会議録は要約いたしますが、原則そのまま委員名と発言内容を公表させていただきますのでご承知おきください。委員の皆様におかれましては、ご発言なさる際に挙手いただきますようお願いいたします。それでは、まず、始めに事務局からお願いいたします。

### 事務局

事務局の経済局消費経済課の野上と申します。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4月21日に開催した部会で、責任職の異動の挨拶をさせていただきましたが、課長の山口が欠席しておりましたので、山口よりご挨拶させていただきます。

### 山口課長

4月1日付で消費経済課長に就任いたしました山口敏子と申します。皆様のお力で横浜市の消費者行政を一つひとつ良くして行ければと思っております。本日のご審議よろしくお願いいたします。

### 作間部会長

それでは、『2議題(1)会議録確認者の選出について』に入ります。本日の会議録確認者ですが、名簿の順番ですと私(作間部会長)と大岡委員の2名となりますが大岡委員が欠席のため、鈴木委員にお願いしたいと思います。鈴木委員おかれましては、前回に引続きで恐縮ですが、よろしいでしょうか。

### 鈴木委員

はい。承知しました。

### 作間部会長

鈴木委員よろしく申し上げます。

## 2 議題

それでは、『2 議題(2)平成 27 年度 消費者団体等協働促進事業の評価について』に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

#### 事務局

これから事務局より、平成 27 年度に事業を実施した 4 団体の事業について、一団体ごとに報告いたします。事務局からの説明の後、団体ごとの評価について委員の皆様にご審議いただきたいと思ひます。

なお、団体の事業評価に加えまして、事務局といたしましても事業評価をしておりますので、審議のご参考にしていただければと思ひます。

また、本日お配りしている資料ですが、これからご報告する内容につきましても、資料 3 から資料 5 を参考にご覧いただければと思ひます。資料 3 は団体ごとの事業評価表となっております。資料 4 は団体から提出された事業報告書等となっております。資料 5 は申請書類一式となっております。

それでは、はじめに「一般社団法人かながわ FP 生活相談センター」の事業報告をいたします。

～ 資料 3、資料 4、資料 5 に基づき報告 ～

#### 作間部会長

ありがとうございます。では、「一般社団法人かながわ FP 生活相談センター」の事業内容について良かった点、改善が必要だと思われる点などについてご意見をお願いいたします。

#### 鈴木委員

実際に講座の様子を見学したわけではないので、配布された資料を基に評価するとなると、参加人数がどれだけいたかということがポイントになってくると思ひます。この団体はそのような視点で見ると、テーマの選定も良かったのだと思ひますが、多くの方に参加いただけた結果から、良くやっていただけたのではないかと思ひます。

#### 荒井委員

参加者の理解度が高かったということは、市民に分かりやすい説明であったことが伺えます。また、興味関心が高いテーマを扱った講座であり、「講座に参加して良かった」という感想があったことも良かったと思ひます。

**作間部会長**

効果的な広報がなされたというところや市民のニーズを捉えたテーマの設定ができていたことについて団体や行政が評価をしておりましたが、講座のちらしを見ると、身近に感じるテーマが多く、「聴いてみたいな」と思う内容になっており、関心しました。例えば、第1回の「高齢者を狙うワナ！あなたはどうか対抗する?!」や第2回の「簡単なエンディングノート」、第3回では「意外と知らない」など、引き付けられるようなテーマの立て方で、そんなに興味がない方でも「ちょっと聴いてみようかな」と思うようなテーマの立て方が印象的でした。このようなことが功を奏して、定員数を上回る申込みがあったり、参加者の満足度も高かったり、費用対効果の面から見ても非常に効果が高い講座であったと思います。

改善点はあまり思いつかなかったのですが、行政の事業評価表のところを進め方の項目にB評価がありますが、情報の共有がうまくできない部分があったということでしょうか。

**事務局**

そのようなことはなく、適当な情報共有ができていたということでB評価としております。

**作間部会長**

団体の事業評価表のところ、実施の項目の理由の中段あたりに、「予算面でちらしの作成配布等工夫することで、費用を抑制できた。」とありますが、他の団体でも活用できるようなちらし作成の工夫があったのであれば、どのようなものかお聞かせいただきたいと思えます。

**事務局**

予算書では、印刷代3万5千円の中にちらし作成が含まれておりますが、決算書では、雑費の約7千円にポスター制作の費用が計上されており、大幅に費用が削減できたという意味だと思います。具体的な内容については、団体に確認します。

**作間部会長**

また、講師料ですが、予算書では5名で計上されていますが、1名謝金を辞退された方がいらっしゃったということで、何か事情が発生されて辞退されたのでしょうか。予算が足りないということではなかったと思いますが。

**事務局**

第4回の講師が外部講師の方だったのですが、ご本人から謝金辞退のお申出があったということです。

**作間部会長**

改善点は何かありますか。

**荒井委員**

アンケートの中に、資料の文字が小さいとの指摘があったということで、団体としても今後の課題という部分で配布資料の文字の大きさや濃さの配慮が必要としています。当日配布した資料はどのようなサイズだったのでしょうか。

**事務局**

当日は、A3版の資料を配布しています。テーマによっては、表を活用するなど情報量の多い講座もありましたので、そのようなご意見があったのだと思います。

**作間部会長**

それでは、次の団体の事業評価に移ります。

事務局よりご説明をお願いいたします。

**事務局**

それでは、続いて「特定非営利活動法人 FP ネットワーク 神奈川」の事業報告をいたします。

～ 資料3、資料4、資料5に基づき報告 ～

**作間部会長**

ありがとうございます。では、「特定非営利活動法人 FP ネットワーク 神奈川」の事業内容について良かった点、改善点などご意見をお願いいたします。

**鈴木委員**

この団体も参加率という点から見ると、当初28組予定していた相談枠に対し、27組の実施率であることから評価できると思います。

また、ちらしを見ると、どういう相談ができるのか内容が例示されているので、市民の方も自分のニーズに合った相談ができるということで、申し込まれる方が多かったのではないかと思います。ただ、行政の事業評価表にもあったように、地域との連携という点よりは、個人的な課題の解決という面が大きいと思いますので、この相談をどのように地域に結び付けるかということを考えられるといいと思いま

す。例えば、地域で開催する講座の中で相談事例を活用することで、次の団体の活動に繋げていけるのではと思います。

**荒井委員**

お金にまつわる相談会ということで、どこに相談したら良いかわからない方なども参加いただけたのではないかと思います。少し気になったのは、療養により相談をキャンセルされた方に対する、事後フォローがあったのかどうかという点です。

**作間部会長**

30組に対して27組の参加があったということで、私も経験がありますが、このような相談会というのは、当日急に欠席される方もたくさんいらっしゃいます。ですが、9割の方に参加いただけたということで、相談日を調整するなど柔軟な対応もあり評価できる点だと思います。相談会ですから、アンケートは実施できないですね。

**事務局**

はい。講座の場合は募集要項の条件にアンケートを実施することが条件として規定されていますが、相談会の場合は、アンケートの実施については、規定がありません。

**作間部会長**

行政の事業評価表の効果の項目がB評価となっていますが、団体はA評価としており、団体としては参加者に喜んでいただき、効果があったと評価されているのでしょうか。

相談会が30分という短い時間ですので、ある程度、団体から説明をして、もう少し詳細な内容ということであれば、専門の相談機関に繋ぐということだったと思いますが。

**事務局**

今回の相談会で専門機関につないだ相談があったかどうかまでは、把握できていません。募集要項では、受付けた相談は、当日中に完結することを基本としており、当日完結できない案件については、専門機関に相談するように案内することとしています。

**作間部会長**

それでは、次の団体の事業評価に移ります。

事務局よりご説明をお願いいたします。

**事務局**

それでは、続いて「神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組

合」の事業報告をいたします。

～ 資料3、資料4、資料5に基づき報告 ～

**作間部会長**

ありがとうございます。では、「神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合」の事業内容について良かった点、改善が必要だと思われる点などについてご意見をお願いいたします。

**鈴木委員**

資料4③の6ページにある講座の出席表を見ると、テーマによって参加者数にばらつきがあることがわかります。市民の方の興味を引くようなテーマについては、参加者が多いですが、それ以外のテーマは市民の興味や関心を引くような内容ではなかったのだと思います。集客もありますが、テーマとしても市民の方が「聴いてみよう」と思う内容は限られてくると思います。そういう意味では、市民のニーズが高く、人が集まりやすいテーマを取り上げ、規模を縮小して開催することでそれなりの費用対効果があるのではないかと思います。

**作間部会長**

講座数がかかなり多いですが、1部90分の講座の中でテーマが異なる二つの題材を取り上げ、それぞれ45分間の講義があるということでしょうか。

**事務局**

ちらしの第1部①、②の講座はそれぞれ別の部屋で同時開催しています。

**作間部会長**

と、いうことは、1テーマ90分の講座ということですね。

講座数は多いのですが、この団体は連続3年事業を実施されていますよね。

**事務局**

はい。3年間連続で事業を実施しており、その前にも数回、事業を実施されています。

**作間部会長**

確か、過去の事業でも集客に課題があった団体だと思いますが、会場準備や資料準備などもあるので、もったいないなと思います。最初に報告のあった団体と比べると、テーマの立て方が少し硬いように思います。市民の方に聴いてもらうようにするには、表現の工夫が必要

だと思いました。

また、資料についてはテーマによるかもしれませんが、内容や活字が多く、難しい印象を受けます。内容が上級者向けなのでしょうか。

**鈴木委員**

添付されている資料を見ると字が多い印象があり、一般市民の方にはわかりづらかったり、退屈してしまったりするかもしれませんね。

**作間部会長**

団体の事業評価表では実施の項目の予算について C 評価とじていますが、行政の事業評価表では実施の項目の参加者について C 評価がありますね。やはり参加者が少なかったことが残念です。

**事務局**

特に前半の講座の参加者が少なかった結果となっています。

**作間部会長**

前半で参加者が少なかった講座は開始時間が遅かったみたいですね。19 時 40 分から開始する講座もあったようです。終了時間が 21 時過ぎということで、会場の都合もあったのだと思いますが、参加者が 2 ～ 3 名となっていますね。参加者が 0 名という講座もあります。

**事務局**

申込みが 3 名あったのですが、3 名ともキャンセルとなっています。

**鈴木委員**

講座を実施していないということですよ。

**作間部会長**

講師も待機していたと思いますので、残念ですね。

**作間部会長**

それでは、最後の団体の事業評価に移ります。

事務局よりご説明をお願いいたします。

**事務局**

それでは、最後に「特定非営利活動法人横浜市まちづくりセンター」の事業報告をいたします。

～ 資料 3、資料 4、資料 5 に基づき報告 ～



**作間部会長**

ありがとうございます。では、「特定非営利活動法人横浜市まちづくりセンター」の事業内容について良かった点、改善が必要だと思われる点などについてご意見をお願いいたします。

**鈴木委員**

資料4④の9ページにある講座開催概要を見ると、参加人数が延べ90名となっています。それに対し、会場の規模が関係してくると思うのですが、計画では、582名を想定していたことを考えると15.5%の参加率であり、やはりテーマごとに参加人数も異なっています。例えば、「リフォーム」や「屋根・太陽光発電」などは比較的、参加人数が多いように思います。その他のテーマは限られた方には興味のある内容かもしれませんが、市民のニーズに沿ったテーマに絞る方がいいのではないかと思います。また、参加率の高いテーマについては、開催回数を増やし繰り返し実施するなど、改善の余地があると思います。

**作間部会長**

「防災」や「耐震」といったテーマは比較的、市民の方も興味のある内容だと思っていたのですが、参加人数を見るとそうでもなさそうですね。

**荒井委員**

講座のテーマの出し方に工夫が必要なのではないでしょうか。震災も経験しているので、興味がないことはないと思います。ただ「耐震」とだけ銘打たれてもピンとは来ないかもしれないですね。

**作間部会長**

そうですね。単に「耐震」とだけ打ち出されると硬いイメージがありますよね。

「バリアフリー」のテーマについても、ちょうどバリアフリーにしようとして検討されている方にとっては聴きたい内容ではあると思いますが、市民の多くの方に向けた講座であることを考えると、興味を引く人は少ないのではないかと思います。

費用のところなのですが、タウンニュースに15回掲載し、補助金の半分にあたる金額が充てられたということでしょうか。

**事務局**

団体としても20万円ほど負担をしているので、補助金の半分にあ

たる金額をまるまる広報に充てたということではありません。総予算の中で半分ほどを占めているという結果になっています。

**作間部会長**

予算の半分ほどを広報に充てられたけれどもあまり効果が得られなかったということですね。

**荒井委員**

ちらしの部数の多さも少し気になります。配布先が増えたことはいいことだと思うのですが、そのちらしを手にした方が申込みまでされたのかなと疑問に思う部分もあります。

**作間部会長**

広報に費用をかけたにもかかわらず、集客率が改善されていないということですね。

講義を聞いた後に個別相談に応じていただけるという事で、実際に工事を検討されている方にとっては良い機会だと思います。

この団体は平成 26 年度も実施されていて、テーマは 2 年連続同じ内容だと思うのですが、確か集客に課題がありましたよね。それを踏まえ、広報に力を入れたということだと思いますが、テーマの設定や開催回数を少し工夫した方が良いと思います。

**荒井委員**

アンケートを見ると「内容がよかった」や「また参加したい」という意見もあったので、その点は評価できると思います。

**作間部会長**

住環境に関する団体はこの団体だけだったので、貴重な団体ではあるのですが、やはり内容やテーマ設定の工夫をしていただけると良いのではないのでしょうか。

**荒井委員**

リフォーム関係だと悪徳業者対策などに重点を置いた講座にすると市民の興味を引くのではないかと思います。

**作間部会長**

他にご意見はありますか。

～意見なし～

それでは、ただいま皆様からいただいたご意見等につきましては、事務局で「部会からの意見書」としてまとめ、今後の団体の活動に活かしていただくよう、各団体宛に送付することにしたいと思います。

なお、意見書の内容につきましては、私と事務局で調整させていただくということによろしいでしょうか。

～委員了承～

これで、平成 27 年度 消費者団体等協働促進事業の評価を終了いたします。

**作間部会長**

それでは、『2 議題(3)その他』に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

**事務局**

相互評価シートの修正についてご説明いたします。

平成 28 年度から実施する事業の評価については、部会において実施団体が事業報告を行い、委員の皆様にご評価していただくこととなります。

資料 6 の相互評価シートにつきましては、団体と行政それぞれが事業終了後に協働の役割やその効果について、お互いに評価するためのシートです。表面には、協働契約書の内容に基づき、事業の概要を記載します。裏面をご覧ください。こちらは、昨年 11 月に開催された第 3 回部会で、本市の標準様式をベースに、赤字にしている項目については除いた形で作成、提案しご了承いただいておりますが、除いた項目につきましても、事業を実施する中で、又は実施終了後に確認している事項であることから、落とした項目を改めて追加させていただきました。一度、ご承認いただいた様式ではありますが、このように修正をしたいと考えております。ご説明は以上です。

**作間部会長**

赤字を含めた部分を加えた形の様式を使用するということですね。

裏面②事業実施段階の項目 5～6 も赤字になっていますが。

**事務局**

4 つ目の項目を追加したため、番号が繰り下がり、変更になっています。

**作間部会長**

標準様式に合わせるために、赤字下線部分について項目を追加することですが、意見等ございましたらお願いいたします。

**鈴木委員**

標準様式というのは、何の様式なのでしょう。

**事務局**

市民局という部署が協働事業の所管をしておりますが、本市が協働事業を実施するうえで、事業終了後に評価するための標準様式として統一したものを市民局が定めています。前回部会でお示した時は、赤字部分について、本事業においては、不要な項目ということで除いたものをご提案したのですが、4月になって事務局の体制も変わり、改めて内部で検討した結果、除いた項目についても評価すべき内容であり、また今までも事業を実施していく中で取り組んでいた内容でもありますので、標準様式に合わせたほうが適当だということになりました。

なお、一番上の評価基準につきましては、標準様式ではA,B,C,Dの4段階評価となっておりますが、3段階のABCで評価することが適当だと考えますので、評価基準については、3段階評価としております。

**作間部会長**

資料3の事業評価表には総評の項目がありますが、各団体が事業終了後に1枚ずつ提出されるのですよね。

**事務局**

資料3の事業評価表は平成28年度から使用せず、協働の評価については、資料6の相互評価シートを使用します。

**事務局**

各項目をより細かく評価することができるので、今後の活動に活かしていくことを考えると、改善点が把握しやすくなったり、具体的な反省点をつめていきやすくなるため、標準様式に合わせた方がよろしからうということで、今回変更案を提示させていただきました。

**荒井委員**

質問なのですが、項目にある「お互い」や「相手にまかせっきりにならず」とは、団体の内部を指しているのか、団体と行政の関係を表しているのかどちらでしょうか。

**事務局**

団体と行政です。

**事務局**

団体と行政がそれぞれ1枚ずつ記入し突合させていくので、使い方は今までと変わりません。

**事務局**

今年度は特に広報に課題を抱えている団体がありましたが、①事業計画段階の6つ目の項目に計画中であることを広報できていたかという評価ポイントを加えることにより、反省点を見出しやすくなるのではないかと判断しました。

**作間部会長**

他にご意見等ございませんか。

**鈴木委員**

新しい様式でやってみましょう。

**作間部会長**

表現も以前のものより、わかりやすくなっていますね。

それでは、資料6については、(案)のとおり修正するというところでよろしいでしょうか。

～委員了承～

最後に事務局からお願いいたします。

**事務局**

長時間に渡りご審議いただきどうもありがとうございました。

最後に今年度の実施事業について、ご報告いたします。委員の皆様にもメールでお送りさせていただきましたが、6月3日に協働実施団体の決定について、記者発表を行いました。現在、実施に向け団体と調整を行っているところです。実際の事業実施は7月以降となる予定です。また、第10次審議会の協働部会としましては、本日が最後の開催となります。委員の皆様におかれましては、本事業の推進にあたり、ご協力いただきどうもありがとうございました。事務局からは以上です。

**作間部会長**

ありがとうございました。

これで本日の議題は全て終了しました。

これで、平成28年度第5回消費生活協働促進事業審査評価部会を終了いたします。

### 3 閉会